

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	粗大ごみ管理運搬委託事業				開始年度	平成17年度 (平成21年度)	
基本目標	廃棄物処理体制の整備				終了年度		
担当課(局)	町民生活課	担当係	環境保全係	記入者	上杉真理	評価者	三浦敏
21年度決算	1,717	千円	22年度予算	2,772	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	73 千円		22年度人件費	72 千円		事業従事者数	0.01 人 0.01 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	粗大ごみの収集・運搬を民間に委託することで、経費の削減を図る
事業の内容	粗大ごみを住民自ら委託業者の施設に持ち込み、計量及び手数料の徴収を委託業者にて実施。その後、委託業者にてごみ処理施設までの運搬を行うもの。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 粗大ごみ管理運搬委託料	粗大ごみを民間の施設に排出者自らに持ち込んでもらうことで、施設の整備等に係る経費が不要となった。
2 搬入件数(有料化前)	粗大ごみの有料化を図り、年々増加する搬入件数を減少させる	
3 搬入件数(有料化後)	粗大ごみ処理を有料化することで、粗大ごみの減量化を図る	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 粗大ごみ量(有料化前)	毎月第2第4土曜日を委託業者施設に持ち込む日とし、業者によって処理施設に運搬搬入。
	2 粗大ごみ量(有料化後)	毎月第2第4土曜日を委託業者施設に持ち込む日とし、業者によって処理施設に運搬搬入。
	3 粗大ごみ処理手数料	H21.10月から粗大ごみについても重量に応じた有料化を実施。委託業者にて手数料を代理徴収後、町へ納入している。

◎達成状況

成果指標	指標名	単位	20年度	21年度	22年度
			粗大ごみ管理運搬委託料	目標値 1,512,000	2,016,000
	実績値	円	1,512,000	1,716,960	
	達成率	%	100.0%	85.2%	
搬入件数(有料化前)	目標値	件	2,400	1,200	—
	実績値		2,409	2,133	
	達成率	%	100.4%	177.8%	
搬入件数(有料化後)	目標値	件	—	1,200	1,200
	実績値		—	488	
	達成率	%	#VALUE!	40.7%	
粗大ごみ量(有料化前)	目標値	kg	110,000	50,500	—
	実績値		116,700	111,200	
	達成率	%	106.1%	220.2%	
粗大ごみ量(有料化後)	目標値	kg	—	50,500	110,000
	実績値		—	20,430	
	達成率	%	#VALUE!	40.5%	
粗大ごみ処理手数料	目標値	円	—	630,000	1,200,000
	実績値		—	262,500	
	達成率	%	#VALUE!	41.7%	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、一般廃棄物の処理事業が市町村に義務付けられている。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	粗大ごみの減量化を目的に有料化を実施。平成21年度は、下半期からの有料化ということで9月までの駆け込みで件数・量ともに増加した。成果は、平成22年度以降で現れると思われる。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	廃棄物については、量の減量を目標とするが、処理の有料化を実施することにより平成21年度については、ごみ量が増加したが、平成22年度以降で効果が現れると考える。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	持ち込むごみの減量については住民の協力が必要であるが、協働性はないと思われる。

事務事業名	粗大ごみ管理運搬委託事業	担当課(局)	町民生活課
-------	--------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	粗大ごみについては、平成21年10月より有料化を実施した。実施直前には通常の数倍の搬入があり、9月までに一挙に年間の総ごみ量に匹敵する量となった。 平成22年度からは、ある程度の効果がみられると思うが、年月が経過するうちに効果が薄れ、平成21年度以前の状況に戻ることも懸念する。各家庭でもさらにごみに対する認識を深めていただき、物を大切に使用していただき、知恵を出しごみを出さない工夫をしていただくことも期待している。 今後、町としてもさらに広報等を通し啓発に取り組むことが必要と思われる。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎廃棄物処理計画に基づき、適切な処理をしなければならない。 ◎収集の方法など町民の利便性が向上するよう、検討改善をお願いしたい。
	コスト	現状維持	